



2025年6月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年11月12日
上場取引所 東

上場会社名 キュービーネットホールディングス株式会社

コード番号 6571 URL <https://www.qbnet.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北野 泰男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 壁谷 勝吉

(TEL) 03-6433-7723

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年6月期第1四半期の連結業績（2024年7月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期第1四半期	6,370	0.9	542	△37.9	498	△40.6	344	△41.3	344	△41.3	135	△78.7
2024年6月期第1四半期	6,311	13.3	873	42.6	839	44.7	587	48.7	587	48.7	637	39.5

	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益	
	円	銭	円	銭
2025年6月期第1四半期	26	28	25	75
2024年6月期第1四半期	44	95	43	74

（2）連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分		親会社所有者帰属持分比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	%	
2025年6月期第1四半期	32,435		13,952		13,952		43.0	
2024年6月期	32,297		14,170		14,170		43.9	

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2024年6月期	—	0.00	—	27.00	27.00	
2025年6月期	—					
2025年6月期（予想）		0.00	—	35.00	35.00	

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年6月期の連結業績予想（2024年7月1日～2025年6月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	25,710	3.8	1,900	△10.2	1,750	△10.9	1,220	△6.3	1,220	△6.3	91	70

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年6月期1Q	13,125,100株	2024年6月期	13,123,600株
② 期末自己株式数	2025年6月期1Q	157株	2024年6月期	123株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年6月期1Q	13,123,890株	2024年6月期1Q	13,060,823株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しており、当社ウェブサイトにも掲載いたします。

また、当社は2024年11月14日に機関投資家及びアナリスト向け決算説明会を開催予定であります。決算説明会の内容については、後日、当社ウェブサイトに掲載予定であります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書	5
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	6
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	7
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間（2024年7月1日～2024年9月30日）は、雇用や所得環境の改善などにより、消費活動は持ち直しを見せております。一方、非製造業を中心とした人手不足や、物価上昇による個人消費への影響は依然として継続しており、経済活動の先行きに不透明感をもたらしております。

このような状況下において、当社グループは、2025年6月期を初年度とする5か年を対象とした中期経営計画「NEXUS」を策定し、人材投資とDX投資を促進することで、世界中で「いつもの」をどこでも実現できるサービスの提供ができるよう事業活動に取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上収益は6,370百万円（前年同期0.9%増）、営業利益は542百万円（同37.9%減）、税引前四半期利益は498百万円（同40.6%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は344百万円（同41.3%減）となりました。

なお、当社グループは従来、各国でヘアカット事業のみを展開していることから「ヘアカット事業」の単一セグメントとしておりましたが、売上総額に対する海外子会社の売上の割合は年々増加しており、また、2024年8月に発表した中期経営計画の中では海外事業の強化を重要戦略の1つとしております。

当社グループは、2024年6月期において組織体制の見直しを行い、海外事業の損益管理、人材管理及びマーケティング戦略の立案・実行を強化するための準備を進めてまいりました。また、2025年6月期を初年度とする中期経営計画では国内事業及び海外事業の戦略を明確に分けていることから、当第1四半期連結累計期間より単一セグメントから「国内事業」及び「海外事業」の2つのセグメントに区分変更することといたしました。

セグメント別の状況については以下のとおりであります。

<国内事業>

国内事業では、消費活動の回復に伴う非製造業の人員需給が依然として逼迫する中、スタイリストの採用状況は堅調に推移しております。総稼働席数も人員の増強に伴い増加に転じており、前年同期を上回る水準となっております。また、夏場の記録的な猛暑や台風等の影響があったものの、総じてカット需要は堅調に推移したことから来店客数は前年同期を上回る水準となりました。

この結果、当セグメントの売上高は5,204百万円（前年同期比0.7%増）、セグメント利益は490百万円（前年同期比39.4%減）となりました。

<海外事業>

海外事業では、競合他社との市場競争が激しくなっている香港・シンガポールで、来店客数が前年同期より減少いたしました。その一方、価格改定を実施したあとも堅調に来店客数を伸ばしている台湾と米国が順調に推移し、海外全体の来店客数は増加をしております。またカナダのトロントにおいて、1号店をオープンし、海外5拠点目での事業を開始いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は1,169百万円（前年同期比2.0%増）、セグメント利益は53百万円（前年同期比19.3%減）となりました。

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間	
	売上	セグメント利益	売上	セグメント利益
国内事業	5,168	808	5,204	490
海外事業	1,146	65	1,169	53

(2) 当四半期の財政状態の概況

① 資産、負債及び資本の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債及び資本の状況は次のとおりであります。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ463百万円増加し、6,946百万円となりました。これは主として、現金及び現金同等物の増加811百万円、営業債権及びその他の債権の減少330百万円等によるものであります。非流動資産は、前連結会計年度末に比べ325百万円減少し、25,488百万円となりました。これは主として、使用権資産の減少249百万円等によるものであります。その結果、資産は、前連結会計年度末に比べ137百万円増加し、32,435百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,251百万円減少し、5,830百万円となりました。これは主として、借入金の減少600百万円、未払法人所得税等の減少232百万円、その他の流動負債の減少456百万円等によるものであります。非流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,607百万円増加し、12,652百万円となりました。これは主として、借入金の増加1,826百万円、リース負債の減少207百万円等によるものであります。その結果、負債は、前連結会計年度末に比べ355百万円増加し、18,482百万円となりました。

資本は、前連結会計年度末に比べ218百万円減少し、13,952百万円となりました。これは主として、資本剰余金の減少353百万円、利益剰余金の増加344百万円等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ811百万円増加し、5,512百万円となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により増加した資金は、985百万円（前年同期は1,195百万円の増加）となりました。これは主として、税引前四半期利益498百万円、減価償却費及び償却費852百万円等の計上に対し、未払費用の減少額424百万円等の資金減少要因があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により減少した資金は、276百万円（前年同期は137百万円の減少）となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出251百万円等の資金減少要因があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により増加した資金は、295百万円（前年同期は1,194百万円の減少）となりました。これは主として、長期借入れによる収入2,000百万円等の資金増加要因があったことに対し、短期借入金の返済による支出600百万円、リース負債の返済による支出740百万円、配当金の支払額354百万円等の資金減少要因があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年6月期の業績予想に関しましては、2024年8月13日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。なお、本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	4,701	5,512
営業債権及びその他の債権	1,398	1,067
その他の金融資産	4	1
棚卸資産	233	160
未収法人所得税	—	3
その他の流動資産	144	200
流動資産合計	6,482	6,946
非流動資産		
有形固定資産	1,389	1,343
使用権資産	5,933	5,684
のれん	15,430	15,430
無形資産	154	158
その他の金融資産	1,993	1,952
繰延税金資産	799	798
その他の非流動資産	113	121
非流動資産合計	25,814	25,488
資産合計	32,297	32,435
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	280	398
借入金	1,392	792
リース負債	2,611	2,550
未払法人所得税等	397	164
その他の金融負債	148	127
その他の流動負債	2,251	1,795
流動負債合計	7,081	5,830
非流動負債		
借入金	6,822	8,648
リース負債	3,306	3,099
その他の金融負債	49	48
繰延税金負債	20	21
引当金	831	821
その他の非流動負債	14	13
非流動負債合計	11,045	12,652
負債合計	18,126	18,482
資本		
資本金	1,352	1,353
資本剰余金	4,502	4,148
利益剰余金	7,733	8,077
自己株式	△0	△0
その他の資本の構成要素	582	373
親会社の所有者に帰属する持分合計	14,170	13,952
資本合計	14,170	13,952
負債及び資本合計	32,297	32,435

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
売上収益	6,311	6,370
売上原価	△4,614	△4,853
売上総利益	1,697	1,517
その他の営業収益	19	3
販売費及び一般管理費	△838	△969
その他の営業費用	△4	△8
営業利益	873	542
金融収益	5	5
金融費用	△40	△50
税引前四半期利益	839	498
法人所得税費用	△252	△153
四半期利益	587	344
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	587	344
四半期利益	587	344
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	44.95	26.28
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	43.74	25.75

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
四半期利益	587	344
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	50	△209
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	50	△209
その他の包括利益合計	50	△209
四半期包括利益	637	135
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	637	135
四半期包括利益	637	135

（4）要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間（自 2023年7月1日 至 2023年9月30日）

（単位：百万円）

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
					在外営業 活動体の 換算差額	新株 予約権	合計
2023年7月1日残高	1,326	4,736	6,431	△0	312	67	379
四半期利益	—	—	587	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	50	—	50
四半期包括利益合計	—	—	587	—	50	—	50
新株の発行（新株予約権の 行使）	10	10	—	—	—	△2	△2
剰余金の配当	—	△260	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	10	△250	—	—	—	△2	△2
2023年9月30日残高	1,337	4,486	7,018	△0	362	64	427

（単位：百万円）

	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	資本合計
2023年7月1日残高	12,874	12,874
四半期利益	587	587
その他の包括利益	50	50
四半期包括利益合計	637	637
新株の発行（新株予約権の 行使）	18	18
剰余金の配当	△260	△260
所有者との取引額合計	△242	△242
2023年9月30日残高	13,270	13,270

当第1四半期連結累計期間（自 2024年7月1日 至 2024年9月30日）

（単位：百万円）

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
					在外営業 活動体の 換算差額	新株 予約権	合計
2024年7月1日残高	1,352	4,502	7,733	△0	526	56	582
四半期利益	—	—	344	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△209	—	△209
四半期包括利益合計	—	—	344	—	△209	—	△209
新株の発行（新株予約権の 行使）	0	0	—	—	—	△0	△0
剰余金の配当	—	△354	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	—	—
所有者との取引額合計	0	△353	—	△0	—	△0	△0
2024年9月30日残高	1,353	4,148	8,077	△0	317	55	373

（単位：百万円）

	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	資本合計
2024年7月1日残高	14,170	14,170
四半期利益	344	344
その他の包括利益	△209	△209
四半期包括利益合計	135	135
新株の発行（新株予約権の 行使）	0	0
剰余金の配当	△354	△354
自己株式の取得	△0	△0
所有者との取引額合計	△353	△353
2024年9月30日残高	13,952	13,952

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	839	498
減価償却費及び償却費	850	852
減損損失	0	—
金融収益	△5	△5
金融費用	40	50
助成金収入	△3	△2
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△205	342
棚卸資産の増減額 (△は増加)	14	69
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△60	104
未払費用の増減額 (△は減少)	△189	△424
その他	272	△96
小計	1,553	1,388
利息の受取額	1	1
利息の支払額	△38	△44
助成金の受取額	3	2
法人所得税の支払額	△324	△362
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,195	985
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△158	△251
無形資産の取得による支出	△4	△15
差入保証金の差入による支出	△15	△36
差入保証金の回収による収入	41	28
その他	△0	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△137	△276
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	—	△600
長期借入れによる収入	—	2,000
長期借入金の返済による支出	△275	△175
セール・アンド・リースバックによる収入	41	163
リース負債の返済による支出	△718	△740
新株予約権の行使による収入	18	0
配当金の支払額	△260	△354
その他	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,194	295
現金及び現金同等物に係る換算差額	34	△192
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△100	811
現金及び現金同等物の期首残高	4,432	4,701
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,331	5,512

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

1. 報告セグメントの概要

当社グループは従来、各国でヘアカット事業のみを展開していることから「ヘアカット事業」の単一セグメントとしておりましたが、売上総額に対する海外子会社の売上の割合は年々増加しており、また、2024年8月に発表した中期経営計画の中では海外事業の強化を重要戦略の1つとしております。

当社グループは、2024年6月期において組織体制の見直しを行い、海外事業の損益管理、人材管理及びマーケティング戦略の立案・実行を強化するための準備を進めてまいりました。また、2025年6月期を初年度とする中期経営計画では国内事業及び海外事業の戦略を明確に分けていることから、当第1四半期連結累計期間より単一セグメントから「国内事業」及び「海外事業」の2つのセグメントに区分変更することといたしました。

これに伴い、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成しております。

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分決定及び業績評価をするために、定期的に検討を行う事業セグメントを基礎としております。

当社グループは、ヘアカット専門店「QB HOUSE」並びに多様なニーズに合わせた業態である「QB PREMIUM」及び「FaSS」の店舗展開により、ヘアカットサービスを提供しており、国内事業と海外事業に区分して管理しております。したがって、当社グループは「国内事業」及び「海外事業」の2つを報告セグメントとしております。上記の報告セグメントの決定に際して、集約された事業セグメントはありません。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当社グループの報告セグメントによる売上収益及び業績は以下のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

(百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	要約四半期連結 財務諸表計上額 (注) 2
	国内事業	海外事業	計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	5,165	1,146	6,311	—	6,311
セグメント間の内部売上 収益	2	—	2	△2	—
計	5,168	1,146	6,314	△2	6,311
セグメント利益	808	65	874	△0	873

(注) 1. セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

(百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	要約四半期連結 財務諸表計上額 (注) 2
	国内事業	海外事業	計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	5,201	1,169	6,370	—	6,370
セグメント間の内部売上 収益	2	—	2	△2	—
計	5,204	1,169	6,373	△2	6,370
セグメント利益	490	53	543	△0	542

(注) 1. セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり利益)

基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
親会社の所有者に帰属する四半期利益 (百万円)	587	344
普通株式の期中平均株式数 (株)	13,060,823	13,123,890
希薄化効果のある普通株式数		
ストック・オプションによる増加 (株)	362,119	266,673
希薄化後普通株式の期中平均株式数 (株)	13,422,942	13,390,563
基本的1株当たり四半期利益 (円)	44.95	26.28
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	43.74	25.75

(重要な後発事象)

該当事項はありません。